

2027年度 慶應義塾大学 派遣交換留学生募集要項

対象: 2027年度出発(2026年秋出願/2027年春出願)

本要項は、本学が外国の大学との間で締結した全学学生交換協定に基づき実施する、慶應義塾大学派遣交換留学制度の案内を記載しています。

重要

最新の情報は、必ず「国際センターWebサイト」掲載の「協定校別募集要項」および各協定校Webサイトで確認してください。出願希望者は、内容を熟読のうえ、必要書類を揃えて出願期間内に提出してください。

募集における留意事項

国際センターWebサイト「交換留学 最新情報」

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/

出願資格や選考に関する変更点等重要な情報が随時更新されます。必ずご確認ください。

・英語の語学要件の変更

2026年1月21日より、TOEFL iBTのスコアスケールが、これまでの0-120点から、1-6点へ変更されました。これに伴い、2027年度募集から学内選考時の出願資格を「TOEFL iBT(旧スケール)総合72点以上またはTOEFL iBT(新スケール)総合4.0点以上、もしくはIELTS総合5.5以上であることかつ、学内選考出願時点で、各協定校の定める語学能力要件の最低基準を満たしていること。」に変更いたしました。

1. 概要

慶應義塾大学派遣交換留学制度とは

慶應義塾大学派遣交換留学とは、本学が外国の大学との間で交わした全学学生交換協定に基づき実施する留学プログラムです。1学年間、世界トップレベルの協定校での大学生活を経験する機会を提供することにより、塾生の国際感覚の育成と視野の拡大を目指すものです。

慶應義塾大学派遣交換留学の特徴

期間	・1学年間(10ヵ月程度 学期間のみの留学は不可)。 ※交換留学期間中の学籍状態は「留学」となる。「休学」扱いでの留学は不可。
選考	・学内選考
学費・奨学金	・留学中は慶應義塾大学に学費を納入し、留学先大学での学費は免除される。 ・慶應義塾大学派遣交換留学生のみを対象とした奨学金への申請が可能。
単位認定*	・留学中に修得した単位が卒業・課程の修了に必要な単位として認定されることがある。 ・留学の期間は申請により、1年間に限り在学年数に算入することが可能。
その他	・本学が指定する海外旅行保険への加入および海外危機管理サポートへの登録が義務。

*所属する学部・研究科により扱いが異なりますので、必ず所属学部・研究科の学事担当にて詳細を確認してください。

2027年度 交換留学スケジュール

慶應義塾大学派遣交換留学には、秋募集と春募集があり、協定校によって、募集期間が異なります。

時期	秋募集	春募集
2026年9月	学内選考出願	
2026年11月	学内選考結果発表	
2026年12月	候補生オリエンテーション (参加必須)	
2026年12月～ 2027年8月	留学先大学へ出願・語学能力強化・渡航準備(予防接種など)	
2027年4月～7月	受入許可・学内手続(国外留学申請など)・宿舎確保・ビザ申請・保険加入等	
2027年5月		学内選考出願
2027年6月	慶應義塾大学留学フェア(情報収集)	
2027年7月～8月	直前出発準備	学内選考結果発表 候補生オリエンテーション(参加必須)
2027年7月～10月	留学先大学へ出発	
2027年8月～11月		留学先大学へ出願・語学能力強化・渡航準備(予防接種など)

2027年11月～ 2028年3月	到着届	
2027年11月～		受入許可・学内手続(国外留学申請など)・宿舍確保・ビザ申請・保険加入等
2027年12月～ 2028年1月		直前出発準備
2028年2月～	留学報告書(2学期目開始後～帰国後1ヶ月以内)	留学先大学へ出発
2028年3月～		到着届
2028年4月～	留学先大学より帰国	
2028年9月～		留学報告書(2学期目開始後～帰国後1ヶ月以内)
2028年12月～		留学先大学より帰国

▶出願準備

- ・語学能力強化および語学能力試験の受験(出願時に証明書が提出できるように早めに受験すること)
- ・留学を希望する協定校に関する情報収集
- ・所属学部・研究科の学事担当に留学に関する手続きや制約などを確認(通年科目の取り扱い、単位認定、進級条件、卒業等について)
- ・留学フェア、留学説明会などへの参加

▶帰国後

- ・学生部国際グループ(三田)へ提出
帰国届、留学報告書の提出、留学フェアなど交換留学プログラム運営への協力 など
- ・所属学部・研究科の学事担当へ提出
就学届、履修申告、単位認定申請 など

志望大学の選び方

自分自身の留学の動機や目的を見つめ直しましょう。留学したい国や大学を限定し、選択肢を狭めるのではなく、留学の動機・目的に照らし合わせたうえで留学先を選ぶことが、充実した留学生活への第一歩です。留学の動機・目的がはっきりしてきたら、以下の「志望大学の選び方 ヒント」を参考にしながら、志望する大学を選びましょう。

志望大学の選び方 ヒント

☞留学先で使いたい言語(留学先大学使用言語)を決める

参考: [協定校別募集要項](#)

主にどの言語を使用し学びたいか考えてみましょう。今後ますます英語はできて当たり前という世の中になっていくことでしょう。英語以外の言語、あるいは英語+もう一言語を使って留学することも、ぜひ考えてみてください。

☞自分自身の語学レベルを把握する

参考: [語学能力試験](#)、[語学能力証明書](#)

英語を使って留学したい方は、学内選考の出願締め切り3ヵ月前までには、TOEFL iBTまたはIELTSを受験することを強く推奨します。派遣交換留学では、英検やTOEICを語学能力証明書として受け付けませんので注意してください。言語によっては、年に数回しか試験を実施しないものもあるので、注意しましょう。

☞協定校別の出願資格を確認する

参考: [協定校別募集要項](#)

学内選考の出願資格だけでなく、協定校別にも出願資格(学年・語学レベル・GPA・前提履修要件等)が定められています。よく確認してください。

☞大学の規模・授業スタイル・環境を調べる

参考: [協定校別募集要項](#)、[派遣交換留学生報告書](#)、協定校Webサイト

本学のような大規模な総合大学で学びたいか、あるいは小規模の大学で学びたいか。授業のスタイルは、講義形式か、ディスカッション形式か。どのような特徴を持った大学で、どのような留学生を送りたいか、具体的にイメージしたうえで、調べてみましょう。多くの場合、大学の近くに住むことになります。留学先大学=生活の場でもある、ということも忘れないでください。行き先によって留学費用は大きく異なります。国や地域によってはかなり費用を抑えることも可能です。

☞交換留学生向けに開講されている分野や科目を確認する

参考: [協定校別募集要項](#)、協定校Webサイト

協定校で開講されているすべての科目を、交換留学生が履修できるとは限りません。また、前提として、交換留学先では、本学で履修している分野・科目と同等の分野・科目を履修することとなります。協定校側で履修のための要件や人数制限が定められていない場合に限り、専門分野以外の科目を履修できる可能性があります。志望大学を選ぶ際には、まず、現在ご自身が慶應で所属する学部や履修している分野・科目が、協定校で交換留学生向けに開講されているか、十分ご確認ください。なお、Business/Management, Economics, Law, Computer Science, Architecture, Design, Medicine, Nursing等、専門性の高い分野においては、一般的に、交換留学生に対し、何らかの

履修制限を設けているケースが多くあります。ご自身の慶應での履修状況と、協定校にて交換留学生向けに開講されている分野・科目を照らし合わせ、履修可能な科目が十分設置されている大学を必ず選び、渡航後も柔軟に対応できるようにしておきましょう。

📌 志望大学選択時の留意点

- ☑必ず複数の大学を比較検討しましょう。比べることでそれぞれの大学の特徴が見えてきます。
- ☑協定校の履修可能言語をきちんと確認しましょう。多くの協定校で、英語による授業を開講していますが、英語で開講されている授業が少ない協定校もあります。ご自身が履修を希望する言語で十分授業が提供されているか、よく確認しましょう。
- ☑日本でよく知られている大学が、自身の留学先として必ずしも最適であるとは限りません。本学の協定校には、日本ではあまり知られていない場合でも、世界的に高い評価を受けている大学が多く含まれています。志望校の選定にあたっては、**大学名やイメージだけでなく、学びたい内容や環境なども踏まえて**検討しましょう。

(参考情報) 協定校情報の調べ方

・協定校別募集要項

協定校別の重要情報をまとめて掲載しています。必ずよく確認してください。国際センターWebサイトの協定校別募集要項は、随時更新しますので、定期的に確認するようにしましょう。

・協定校Webサイト

交換留学生向けのWebページを各協定校が作成しています。協定校別募集要項より詳しい内容が掲載されています。大学の規模や環境、授業の詳しい内容等を知りたいときは、調べてみましょう。協定校別募集要項に各協定校のURLが記載されています。動画などで大学の魅力をコンパクトに紹介していることもあります。

・派遣交換留学生報告書

国際センターのWebサイトに掲載されています(要keio.jp認証)。本学から世界各地の協定校へ留学した交換留学生による留學生活の報告書です。実際の留學生活をイメージするのに役立つでしょう。ただし、塾生個人の体験に基づき作成した報告書であり、また記載されている内容は留學時の情報に基づくため、現在では制度やカリキュラムなどが変更されている可能性がありますのでご了承ください。

2. 出願・選考

I. 2027年度 出願・選考スケジュール

	秋募集	春募集
出願開始	2026年 9月 7日(月)	2027年 5月 7日(金)
出願締切	2026年 9月28日(月) 15:59	2027年 5月28日(金) 15:59
学内選考結果発表	2026年 11月25日(水)	2027年 7月20日(火)
候補生オリエンテーション	2026年 12月12日(土)	2027年 8月上旬
異文化理解講座	2026年 12月12日(土)	2027年 12月中上旬

・秋募集の出願においては、春学期の成績を含めた最新の成績証明書を入手のうえ、アップロードを完了してください。成績証明書発行についての詳細は、塾生サイトを確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/procedure/certificate/issue.html>

※前学期までの授業料が未納(奨学金手続きの関係によるもの等も含む)の場合、いかなる証明書も発行できません。また納入後、発行まで数日を要する場合があります。

・上記の日程は今後変更になる可能性があります。日程が変更になった場合は、国際センターのWebサイト等でお知らせします。

・**オリエンテーションおよび異文化理解講座は塾生本人のみを対象とし、参加必須です。正課以外の理由で欠席・遅刻・早退は認められません。無断欠席の場合、派遣生としての資格を取り消すことがあります。**

・選考に関して変更点がありましたら、随時国際センターWebサイトにて更新しますのでご確認ください。

・国際センターWebサイト「出願・選考スケジュール」

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/screening_schedule.html

✉ 問い合わせ先

慶應義塾大学 学生部国際グループ(三田)

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～16:45(土・日、祝日は閉室)

※11:30～12:30は、昼休みにつき担当者不在のため、避けるようにしてください。

※問い合わせは、原則として塾生本人がするようにお願いします。

※回答には3～5営業日いただいています。

質問はK-SupportのFAQ・問い合わせ「04 国際交流(派遣交換留学等)」よりお問い合わせください。

募集期別 協定校一覧

■秋募集(2027年7月~10月頃留学開始)	
国・地域	派遣先大学
China	Beijing Foreign Studies University Beijing Normal University City University of Hong Kong Fudan University Jilin University Nanjing University Nankai University Peking University Renmin University of China Shanghai Jiao Tong University The Chinese University of Hong Kong The University of Hong Kong Tsinghua University University of Macau Xi'an Jiaotong University Zhejiang University
Indonesia	Universitas Indonesia
Korea	Ewha Womans University Korea University Pusan National University Seoul National University Yonsei University
Malaysia	Universiti Malaya
Philippines	University of the Philippines
Singapore	National University of Singapore Singapore Management University Singapore University of Technology and Design
Taiwan	National Chengchi University National Cheng Kung University National Taiwan University
Thailand	Chulalongkorn University
Viet Nam	Foreign Trade University
Canada	Concordia University McGill University Queen's University Simon Fraser University (新規) The University of British Columbia Université de Montréal University of Calgary University of Toronto York University (Canada)

United States of America	<p>Allegheny College American University Boston University Brandeis University (新規) Brown University Bryn Mawr College Carnegie Mellon University Dartmouth College Georgetown University Illinois Wesleyan University Manhattanville University Rice University The College of William & Mary The University of North Carolina at Chapel Hill University of California Education Abroad Program University of Hawai'i at Mānoa University of Illinois at Urbana-Champaign University of Maryland, College Park University of Notre Dame University of Pennsylvania University of Washington The University of Wisconsin-Madison Western Michigan University</p>
Mexico	Tecnológico de Monterrey
Austria	WU (Vienna University of Economics and Business)
Belgium	Universiteit Antwerpen
Denmark	Aarhus University
Finland	University of Helsinki (新規)
France	<p>École normale supérieure (ENS) EDHEC Business School ESSEC Business School HEC Paris INALCO Jean Moulin - Lyon 3 University Sciences Po Toulouse Capitole University Université Côte d'Azur Université Paris Cité Université de Strasbourg Université Paris I Panthéon-Sorbonne Université Sorbonne Nouvelle</p>
Germany	<p>Freie Universität Berlin Heinrich Heine University Düsseldorf Martin Luther University Halle-Wittenberg RWTH Aachen University Saarland University</p>

	Technische Universität Darmstadt (TU Darmstadt) Technische Universität München (TUM) TU Dresden University of Bonn University of Cologne University of Siegen WHU - Otto Beisheim School of Management
Greece	National and Kapodistrian University of Athens
Hungary	University of Pécs
Ireland	University College Dublin
Italy	Ca' Foscari University of Venice "L'Orientale" University of Naples Sapienza Università di Roma Università Bocconi Università degli Studi di Milano University of Pavia
Netherlands	Erasmus University Rotterdam Leiden University University of Amsterdam VU Amsterdam
Norway	University of Bergen University of Oslo
Poland	University of Warsaw
Russia	Far Eastern Federal University Lomonosov Moscow State University Saint Petersburg State University
Spain	ESADE Business School Pompeu Fabra University (UPF) Universidad de Salamanca (USAL) Universitat Autònoma de Barcelona (UAB) University of Navarra
Sweden	KTH Lund University University of Gothenburg Uppsala University Örebro University (新規)
Switzerland	University of Bern University of Geneva (UNIGE) University of Lausanne University of St.Gallen University of Zurich
Turkey	Bogaziçi University
United Kingdom	Cardiff University Durham University King's College London

	Royal Holloway, University of London SOAS University of London The University of Edinburgh The University of Manchester The University of Sheffield The University of Warwick University of Birmingham University of Glasgow University of Southampton University of St Andrews University of York (UK)
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■春募集(2028年2月頃留学開始)	
国・地域	派遣先大学
Australia	The Australian National University The University of Melbourne The University of New South Wales The University of Queensland The University of Sydney
New Zealand	The University of Auckland University of Otago
Argentina	Universidad Torcuato Di Tella

※年度により、必ずしもすべての協定校において募集があるとは限りません。最新の情報は国際センターWebサイトをご確認ください。

国際センターWebサイト「交換留学最新情報」

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/

II. 出願資格

出願資格に変更が生じた場合は、国際センターWebサイトの交換留学最新情報に掲載しますので、ご確認ください。

国際センターWebサイト「交換留学最新情報」

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/

【学部生】

<p>1. 出願時に慶應義塾大学学部1年、2年もしくは3年に在籍している者。</p> <ul style="list-style-type: none">・学部1年の場合は、出願時に2学期目に在籍し、かつ留学時に2年に進級予定の者を出願可とします。・学部4年の者は、所属学部において留学することが認められている場合は出願可とします。留学の可否については、事前に必ず所属学部の学事担当に確認をしてください。 <p>※学部4年に在籍する者で、次年度に慶應義塾大学大学院に在籍予定の者は、「大学院生および大学院に進学予定の学部4年生」を参照してください。</p>
<p>2. 留学期間終了時まで必ず本学に在籍していること。</p> <p>・学内出願時から留学開始前の学期までの休学を認めますが、休学期間は学期単位での認定となります。慶應義塾大学での学期は、春学期が4月1日～9月21日、秋学期が9月22日～3月31日となりますが、協定校のなかには、秋学期が9月21日以前に開始となる大学も多くあります。この場合、留学開始日が本学の春学期と重複していることから、原則春学期の休学は認められません。同様に、春出発の場合で、留学先の学期が3月31日以前に開始となる場合は、留学開始日が本学の秋学期と重複していることから、原則秋学期の休学は認められません。派遣交換留学参加前の休学を検討されている場合、この点について十分ご注意ください（ただし、一部学部・研究科では、認められる場合もありますので、詳細は、各学部・研究科の学事担当にお問い合わせください）。なお、派遣候補生になった場合、休学中であっても、各種オリエンテーションへの参加および協定校への出願を行っていただきます。また、派遣交換留学の開始から終了までの期間の在籍状況は「留学」となり、学費は慶應義塾大学に全額納入いただきます。この期間中は休学することは認められません。「留学中の学費」をご確認ください。なお、停学期間中での出願は受け付けません。</p>
<p>3. 学業成績が優秀であること。成績証明書における大学学部1年次からの成績の累積（GPA）が2.00以上であることかつ、学内選考出願時点で、各協定校の定める成績要件の最低基準を満たしていること。</p> <p>・自身の成績が各協定校の定める成績要件の最低基準より低い場合は、当該協定校を志望校としてあげることができません。</p>
<p>4. 各募集時期の書類提出期間内に留学先大学での予定使用言語の証明書を提出できること。</p> <p>・「3. 出願時に登録する内容・必要書類」、「IV. 語学能力証明書」に示された各言語の必要書類を参照すること。</p>
<p>5. 英語の語学能力証明書が必要な大学への留学を希望する場合：</p> <p>TOEFL iBT (旧スケール) 総合72点以上またはTOEFL iBT (新スケール) 総合4.0点以上、もしくはIELTS総合5.5以上であることかつ、学内選考出願時点で、各協定校の定める語学能力要件の最低基準を満たしていること。</p>

英語以外の言語により現地で授業を履修する場合：

その言語の能力を証明する書類が必要です。詳細は、「[IV. 語学能力証明書](#)」をご確認ください。

※学内選考出願時点で希望する協定校の定める語学能力要件の最低基準を満たしていない場合、その大学は学内選考対象外となるので注意してください。

※協定校側でセクションごとの要件が課されている場合は、セクションごとの要件も満たしている必要があります。セクションごとの要件を満たしていない場合、その大学は学内選考対象外となるので注意してください。

※TOEFL iBTはTest Date Scoresのみ有効とします(My Best Scoresは評価されません)。

※IELTSはアカデミック・モジュールのみ受け付けます。また、One Skill Retake Scoresは受け付けません。

※協定校が定める語学能力要件を満たしていない場合、学内選考時に志望大学としてあげることとはできません。

※上記の語学能力要件は、学内出願資格として定める必要最低限の基準です。留学先で英語以外の言語にて履修を希望する場合でも、協定校が定める語学能力要件を学内出願時点で満たしていることが強く望まれます。協定校が定める語学能力要件を満たしていない場合には、原則として協定校からの受入許可がありません。

※英国の協定校への留学を希望する場合には学内出願時にIELTSのスコアを提出することが望ましいですが、TOEFL iBTのスコアが各協定校の募集要項に記載されている場合、TOEFLのスコアでも学内選考は出願可能です。ただし、英国ビザ取得や留学先大学への出願の際にIELTSのスコアが必要になる場合は、速やかにIELTSを受験し、必要点数を満たすスコアを取得する必要があります。

※TOEFL iBT Home Edition／IELTS Onlineでの出願は受け付けません。学内選考募集期日までに必ずテストセンター受験型のTOEFL iBT／IELTSのスコアレポートをご用意ください。

※IELTSでは、Investigation (IELTS本部が受験者にランダムで行っている調査)の対象になると、試験結果が届くまでに通常より大幅に時間を要します。TOEFLにおいても、再採点を依頼しているうちは、テストスコアは無効となるため、こうした事態が発生した場合でも期日までにスコアを提出できるよう、必ず余裕をもって受験するようにしてください。いかなる場合においても、期日後の提出は認めていません。

6. 誓約書の内容を理解し、保証人の承諾を得られること。

・誓約書は以下のページからダウンロードが可能です。

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/applications.html

各学部の制約と特記事項

① 留学するにあたり、各学部の制約や特記事項があります。出願前に履修案内を熟読し、必ず各学部の学事担当者または学習指導担当教員などに確認・相談してください。特に、以下の点について、必ず出願前に所属学部と確認をするようにしてください。

・通年科目の取り扱いや、単位認定・進級・卒業などに関する事項について

・4年間で卒業を希望する場合、卒業に必要な条件について

- ・留学をした場合のゼミ選考のスケジュール、ゼミの取り扱い
- ・(SFC所属の学生の場合)卒業プロジェクトと留学の両立について
- ・帰国後に進級を希望する場合は、進級条件について

- ② 医学部・看護医療学部・薬学部在籍者は、交換留学による長期留学はカリキュラム上、難しい場合があります。必ず事前に学事担当者または学習指導担当教員などに確認・相談してください。また、外国の医療系分野の教育制度上、応募しても派遣交換留学生となることが難しい場合があります。

出願上の留意点

- ① 派遣人数は募集年度ごとに異なる場合があります。
- ② 各協定校の応募資格、語学能力条件等、最新の情報は、国際センターのWebサイトで随時お知らせします。
- ③ 過去に全塾の派遣交換留学生として派遣されたことがあり、かつ再度交換留学に応募を希望する場合は、応募前に必ず学生部国際グループに相談してください。制度上、全塾交換留学は通算で2回まで参加できますが、2度目の出願の際には交換留学未経験の学生が優先される場合があります。
- ④ 学内選考通過者は、あくまでも「慶應義塾大学派遣交換留学候補生」であり、協定校からの受入許可をもって正式に留学が決定します。留学先大学では、学位を取得することはできません。
- ⑤ 協定校の出願資格を満たさない場合、もしくは協定校による急な条件の変更等により、受入許可が出ない場合があります。
- ⑥ 各協定校の履修条件を満たさない場合や登録人数制限がある場合は、希望する学部への所属や科目の履修ができない場合があります。交換留学生の受入が不可または履修制限がある学部は、協定校別募集要項および協定校Webサイトを確認ください。また、**特に制限がない学部であっても、最終的な受入は協定校側の判断となり、ご自身の希望学部にも必ずしも所属できるとは限りません。この点を理解し、柔軟に学習計画を立ててください。**なお、以下の分野では、一般的に交換留学生に対して何らかの履修制限を設けているケースが多いため、志望校の選択にあたって特に注意してください。

Business, Economics, Law, Computer Science, Architecture, Medicine, Nursing

- ⑦ 学内選考通過後は、原則として留学の辞退を認めていません。出願前に、留学計画をよく練ってください。
- ⑧ 留学中にかかる費用について、保証人とよく相談し、事前に保証人等の経済的負担者の了解を得たうえで出願してください。留学先大学への出願手続きやビザ取得の手続きにおいては、留学期間中の費用が準備されていることを証明するために、金融機関の残高証明書の提出が出発前に必要となる場合があります。留学で必要な費用は留学する国や大学で異なりますが、学費を除いた生活費は、150万円～300万円以上かかる可能性があります。また、派遣交換留学において、留学中は慶應義塾大学に学費を納入することで、留学先での授業料の支払いは免除

されますが、それ以外のプログラム参加にかかる諸費用 (Semester Fee/Orientation Fee/Technology Feeなど) は、各自で協定校に支払う必要があります。特に、北米の大学においては、諸費用の合計が数十万円に上ることもあります。全塾派遣交換留学生として、留学中は学びに専念できるよう事前に留学先での生活を想定し、経済面を含め準備を整えてください。

※詳細は、「[留学のための費用](#)」、出願する大学のWebサイトや過去の派遣交換留学生の留学報告書等も参照してください。

- ⑨ 出願時に登録する連絡先は、keio.jpのメールアドレスを入力してください。
- ⑩ 留学開始前に休学を検討されている場合、休学・復学の時期に注意が必要です。留学開始直前の学期の休学が認められない場合もありますので、留学開始前の休学を検討されている方は、ご自身が休学が可能なのか、また、休学した場合、いつまでに復学手続きをする必要があるかについて、事前に所属学部の学事担当に必ずご確認ください。
- ⑪ 交換留学先での宿舎は保証されていないため、派遣先大学が提供する宿舎に入居できなかった場合は、自身で民間の宿舎等を手配する必要があります。また、宿舎の手配にあたっては、本学国際センターでは物件の斡旋や情報提供等、部屋探しに関するサポートはできかねますので、あらかじめご承知おきください。
- ⑫ 交換留学中は、学業に専念することが求められます。留学中のインターンシップについては正規授業の一環であるものを除いて、学期(授業期間)中に行うことは出来ません。また、交換留学中のアルバイトについても、学内のもの(TAやイベント運営補助等)を除き、原則、授業期間中に行うことは出来ません。
- ⑬ 国際センターでは、派遣交換留学生が個人の判断で留学期間を短縮することや、自己都合(インターンシップや就職活動等を含む)により早期帰国することは一切認めていません。また、留学先にて授業自体が終了している場合であっても、学期末試験の受験や課題(レポート等)の提出を残した状況での帰国は認めておりませんので、その点に十分留意したうえで、進級・卒業にあたってのスケジュールを立ててください。

▶海外旅行保険ならびに海外危機管理サポートについて

- ・派遣交換留学制度を利用し留学する塾生は、出発から帰国までの期間を補償する本学指定の海外旅行保険への加入ならびに海外危機管理サポートへの登録が**義務付け**られています(12ヵ月で20万円程度を予定)。期日までに加入しない場合、派遣交換留学生としての資格が取り消しとなります。

本学指定の海外旅行保険に加入した場合であっても、留学先大学や留学先国のビザを取得するために現地保険に加入が求められる場合は、双方の保険に加入する必要があります。

- ・これは、たとえご自身の国籍やご実家等のある国へ留学をする場合であっても、派遣交換留学生全員に対して加入が義務付けられているものとなります。
- ・留学先大学から別途加入を求められる場合、留学先国・地域や渡航期間によって保険料額はさまざままで10万円~40万円程度になることがあります。特に北米の一部の大学では高額な保険への

加入が必要になる場合があります、保険料額は本学指定の海外旅行保険と併せて合計 60万円程度になることもあります。

- ・留学先大学で加入が求められる保険に関しては、留学先大学の都合等で毎年変わる場合があります、留学先大学への留学の手続きを進める中で、各自確認していただきます。
- ・一部の大学では、留学先大学が指定する一定基準の補償内容をカバーした保険に日本で加入していることを指定期日までに書面で証明することにより、現地での保険加入が免除される場合があります。
- ・保険の加入やビザ申請等は、留学が決まった塾生が各自の責任において行うものですのであらかじめご了解ください。

【大学院生および大学院に進学予定の学部4年生】

大学院生の留学について

大学院生が慶應義塾大学派遣交換留学制度で留学しようとする場合、学部生とは異なった準備やプロセスが必要となる場合があります。特に欧米の大学で、研究内容がより専門的であることから、留学先の事情により学部生より留学がスムーズに認められず、その結果留学受入れ自体が不可となることもあります。希望する留学先大学への留学を実現するために、事前に情報収集を徹底してください。留学希望先の大学のWebサイトで指導教員候補などを調べ、早めにコンタクトをとり、慶應義塾大学での指導教員にも相談をするようにしてください。また、大学や分野によっては、受入の可否について慶應義塾大学から事前の確認が必要な場合があります。

大学院生で交換留学を希望する塾生は、各出願期日の4週間前までに、以下の情報を記載のうえ、必ず学生部国際グループ宛てにK-Supportにてご相談ください。

- ・出願を希望する協定校
- ・現地で所属を希望するFaculty/School
- ・現地で予定している研究形態(〈例〉研究活動のみ、研究活動&授業履修)
- ・現地での使用言語

※出願期日の4週間前までにK-Supportにてご連絡いただかなかった場合は、出願の受付ができませんので、必ず早めにご連絡ください。

1. 慶應義塾大学大学院修士課程／前期博士課程、後期博士課程に在籍している者および慶應義塾大学学部4年に在籍する者で、次年度に慶應義塾大学大学院に進学予定の者。

- ・各課程の最終学年に在籍する者は、原則として応募できません。
- ※質問がある場合は、各応募期間前に、以下宛てにK-Support(在籍状況等によりK-Supportが利用できない環境の者はメール)にて相談してください。

相談先

在学生はK-SupportのFAQ・問い合わせ「04 国際交流(派遣交換留学等)」よりお問い合わせください。

メールアドレス ic-outbound@adst.keio.ac.jp

2. 留学期間終了時まで必ず本学に在籍していること。

※学内出願時から留学開始前の学期までの休学を認めますが、休学期間は学期単位での認定となります。慶應義塾大学での学期は、春学期が4月1日～9月21日、秋学期が9月22日～3月31日となりますが、協定校のなかには、秋学期が9月21日以前に開始となる大学も多くあります。この場合、留学開始日が本学の春学期と重複していることから、原則春学期の休学は認められません。同様に、春出発の場合で、留学先の学期が3月31日以前に開始となる場合は、留学開始日が本学の秋学期と重複していることから、原則秋学期の休学は認められません。派遣交換留学参加前の休学を検討されている場合、この点について十分ご注意ください(ただし、一部学部・研究科では、認められる場合もありますので、詳細は、各学部・研究科の学事担当にお問い合わせください)。なお、派遣候補生になった場合、休学中であっても、各種オリエンテーションへの参加および協定校への出願を行っていただきます。また、派遣交換留学の開始から終了までの期間の在籍状況は「留学」となり、学費は慶應義塾大学に全額納入いただきます。この期間中は休学することは認められません。「[留学中の学費](#)」をご確認ください。なお、停学期間中の出願は受け付けません。

3. 学業成績が優秀であること。学内選考出願時に学部4年生の場合は、成績証明書に記載されている大学学部1年次からの成績の累積(GPA)が2.00以上であること。大学院生の場合は、各課程(修士課程等)の成績の累積(GPA)が3.30以上であること。また、各協定校の定める成績要件の最低基準を満たしていること。

- ・これまで所属したすべての学部および大学院の成績証明書を提出すること。
- ・他大学出身者は、出身大学から成績証明書を取り寄せて提出すること。
- ・自身の成績が各協定校の定める成績要件の最低基準より低い場合は、当該協定校を志望校としてあげることができません。

4. 出願時に慶應義塾大学での指導教員からの留学許可を得ていること。また、留学を許可する内容の文書(手紙やメール等形式は問いません)を提出できること。

5. 出願時に各志望大学の指導教員から受入内諾を得ていること。また、受入を内諾する内容の文書(手紙やメール等形式は問いません)を提出できること。なお、当該大学の事情により内諾を得られない場合は、理由書を提出すること。

6. 科目履修や論文指導、フィールドワーク等について、留学時の具体的な研究計画を明記できること。

7. 各募集時期の書類提出期間内に、留学先大学での予定使用言語の証明書を提出できること。

- ・「[3. 出願時に登録する内容・必要書類](#)」、「[IV. 語学能力証明書](#)」に示された各言語の必要書類を参照すること。

8. 英語の語学能力証明書が必要な大学への留学を希望する場合:

TOEFL iBT(旧スケール)総合72点以上またはTOEFL iBT(新スケール)総合4.0点以上、もしくはIELTS総合5.5以上であることかつ、学内選考出願時点で、各協定校の定める語学能力要件の最低基準を満たしていること。

英語以外の言語により現地で授業を履修する場合:

その言語の能力を証明する書類が必要です。詳細は、「[IV. 語学能力証明書](#)」をご確認ください。

- ※学内選考出願時点で希望する協定校の定める語学能力要件の最低基準を満たしていない場合、その大学は学内選考対象外となるので注意してください。
- ※協定校側でセクションごとの要件が課されている場合は、セクションごとの要件も満たしている必要があります。セクションごとの要件を満たしていない場合、その大学は学内選考対象外となるので注意してください。
- ※TOEFL iBTはTest Date Scoresのみ有効とします(My Best Scoresは評価されません)。
- ※IELTSはアカデミック・モジュールのみ受け付けます。また、One Skill Retake Scoresは受け付けません。
- ※協定校が定める語学能力要件を満たしていない場合、学内選考時に志望大学としてあげることとはできません。
- ※上記の語学能力要件は、学内出願資格として定める必要最低限の基準です。留学先で英語以外の言語にて履修を希望する場合でも、協定校が定める語学能力要件を学内出願時点で満たしていることが強く望まれます。協定校が定める語学能力要件を満たしていない場合には、原則として協定校からの受入許可がありません。
- ※英国の協定校への留学を希望する場合には学内出願時にIELTSのスコアを提出することが望ましいですが、TOEFL iBTのスコアが各協定校の募集要項に記載されている場合、TOEFLのスコアでも学内選考は出願可能です。ただし、英国ビザ取得や留学先大学への出願の際にIELTSのスコアが必要になる場合は、速やかにIELTSを受験し、必要点数を満たすスコアを取得する必要があります。
- ※TOEFL iBT Home Edition／IELTS Onlineでの出願は受け付けません。学内選考募集期日までに必ずテストセンター受験型のTOEFL iBT／IELTSのスコアレポートをご用意ください。
- ※IELTSでは、Investigation (IELTS本部が受験者にランダムで行っている調査)の対象になると、試験結果が届くまでに通常より大幅に時間を要します。TOEFLにおいても、再採点を依頼しているうちは、テストスコアは無効となるため、こうした事態が発生した場合でも期日までにスコアを提出できるよう、必ず余裕をもって受験するようにしてください。いかなる場合においても、期日後の提出は認めていません。

9. 誓約書の内容を理解し、保証人の承諾を得られること。

誓約書は以下のページからダウンロードが可能です。

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/applications.html

各研究科の制約と特記事項

留学するにあたり、各研究科の制約や特記事項があります。留学先大学で履修した科目の単位認定は、研究科ごとに規程(通年科目の取り扱いや単位認定・進級・卒業などに関する事項)が異なります。出願前に履修案内を熟読し、必ず指導教員および各研究科の学事担当者などに確認・相談してください。帰国後に在学年数への算入を希望する者は、所属研究科の学事担当窓口にて手続きを取ってください。

出願上の留意点

① 大学院生派遣交換留学については、大学や分野によっては慶應義塾大学からの事前の確認が必要な場合があります。

■ 大学院への交換留学を考えている塾生

各応募期間の締切4週間前までに、以下宛てにK-Support (K-Supportが利用できない環境の者はメール)にて相談してください。その際、以下の4点についてあわせてお知らせください。

- ・出願を希望する協定校
- ・現地での所属を希望するFaculty/School
- ・現地で予定している研究形態(〈例〉研究活動のみ、研究活動&授業履修)
- ・現地での使用言語

※出願期日の4週間前までにK-Supportにてご連絡いただかなかった場合は、出願の受付ができませんので、必ず早めにご連絡ください。

相談先 学生部国際グループ

在学生はK-SupportのFAQ・問い合わせ「04 国際交流(派遣交換留学等)」よりお問い合わせください。

メールアドレス ic-outbound@adst.keio.ac.jp

- ② 大学院生は、原則大学院相当の課程に留学してください。
- ③ 派遣人数は募集年度ごとに異なる場合があります。
- ④ 各協定校の応募資格、語学能力等の条件は、募集要項発行時点のものであるため、変更の可能性があります。最新の情報は、国際センターのWebサイトで随時お知らせします。
- ⑤ 過去に全塾の派遣交換留学生として派遣されたことがあり、かつ再度交換留学に応募を希望する場合は、応募前に必ず学生部国際グループに相談してください。制度上、全塾交換留学は通算で2回まで参加できますが、2度目の出願の際には交換留学未経験の学生が優先される場合があります。
- ⑥ 学内選考通過者は、あくまでも「慶應義塾大学派遣交換留学候補生」であり、協定校からの受入許可をもって正式に留学が決定します。留学先大学では、学位を取得することはできません。
- ⑦ 協定校の出願資格を満たさない場合、もしくは協定校による急な条件の変更等により、受入許可が出ない場合があります。
- ⑧ 各協定校の履修条件を満たさない場合や登録人数制限がある場合は、希望する学部への所属や科目の履修ができない場合があります。交換留学生の受入が不可または履修制限がある学部は、協定校別募集要項および協定校Webサイトを確認ください。また、特に制限がない学部であっても、最終的な受入は協定校側の判断となり、ご自身の希望学部にも必ずしも所属できるとは限りません。この点を理解し、柔軟に学習計画を立ててください。

- ⑨ 学内選考通過後は、原則として留学の辞退を認めていません。出願前に、留学計画をよく練ってください。
- ⑩ 留学中にかかる費用について、保証人とよく相談し、事前に保証人等の経済的負担者の了解を得たうえで出願してください。留学先大学への出願手続きやビザ取得の手続きにおいては、留学期間中の費用が準備されていることを証明するために、金融機関の残高証明書の提出が出発前に必要となる場合があります。留学で必要な費用は留学する国や大学で異なりますが、学費を除いた生活費は、150万円～300万円以上かかる可能性があります。また、派遣交換留学において、留学中は慶應義塾大学に学費を納入することで、留学先での授業料の支払いは免除されますが、それ以外のプログラム参加にかかる諸費用（Semester Fee／Orientation Fee／Technology Feeなど）は、各自で協定校に支払う必要があります。特に、北米の大学においては、諸費用の合計が数十万円に上ることもあります。全塾派遣交換留学生として、留学中は学びに専念できるよう事前に留学先での生活を想定し、経済面を含め準備を整えてください。
- ※詳細は、「[留学のための費用](#)」、出願する大学のWebサイトや過去の派遣交換留学生の留学報告書等も参照してください。
- ⑪ 留学開始前に休学を検討されている場合、休学・復学の時期に注意が必要です。留学開始直前の学期の休学が認められない場合もありますので、留学開始前の休学を検討されている方は、ご自身が休学が可能なのか、また、休学した場合、いつまでに復学手続きをする必要があるかどうかについて、事前に所属学部の学事担当に必ずご確認ください。
- ⑫ 交換留学中は、学業に専念することが求められます。留学中のインターンシップについては正規授業の一環であるものを除いて、学期（授業期間）中に行うことは出来ません。また、交換留学中のアルバイトについても、学内のもの（TAやイベント運営補助等）を除き、原則、授業期間中に行うことは出来ません。
- ⑬ 国際センターでは、派遣交換留学生が個人の判断で留学期間を短縮することや、自己都合（インターンシップや就職活動等を含む）により早期帰国することは一切認めていません。また、留学先にて授業自体が終了している場合であっても、学期末試験の受験や課題（レポート等）の提出を残した状況での帰国は認めておりませんので、その点に十分留意したうえで、進級・卒業にあたってのスケジュールを立ててください。

▶海外旅行保険ならびに海外危機管理サポートについて

- ・派遣交換留学制度を利用し留学する塾生は、出発から帰国までの期間を補償する本学指定の海外旅行保険への加入ならびに海外危機管理サポートへの登録が義務付けられています（12カ月で20万円程度を予定）。**期日までに加入しない場合、派遣交換留学生としての資格が取り消しとなります。**本学指定の海外旅行保険に加入した場合であっても、留学先大学や留学先国のビザを取得するために現地保険に加入が求められる場合は、双方の保険に加入する必要があります。
- ・これは、たとえご自身の国籍やご実家等のある国へ留学をする場合であっても、派遣交換留学生全員に対して加入が義務付けられているものとなります。

- ・留学先大学から別途加入を求められる場合、留学先国・地域や渡航期間によって保険料額はさまざまに10万円～40万円程度になることがあります。特に北米の一部の大学では高額な保険への加入が必要になる場合があり、保険料額は本学指定の海外旅行保険と併せて合計60万円程度になることもあります。
- ・留学先大学で加入が求められる保険に関しては、留学先大学の都合等で毎年変わる場合があり、留学先大学への留学の手続きを進める中で、各自確認していただきます。
- ・一部の大学では、留学先大学が指定する一定基準の補償内容をカバーした保険に日本で加入していることを指定期日までに書面で証明することにより、現地での保険加入が免除される場合もあります。
- ・保険の加入やビザ申請等は、留学が決まった塾生が各自の責任において行うものですのであらかじめご了解ください。

出願に関する質問については、国際センターWebサイトの「よくある質問」を確認してください。

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/faq.html

Ⅲ. 出願方法

Ⅰ. 出願方法

派遣交換留学への出願は、

KEIO IC-NET <https://studyabroad.gakuji.keio.ac.jp>

を通じ行います。

以下を参考に、出願手続きを行ってください。なお、「KEIO IC-NET 操作マニュアル」を国際センターのWebサイトに掲載していますので、必ず確認してください。

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/applications.html

出願手順

STEP1 留学計画の作成

「KEIO IC-NET」で必要事項を確認後、志望理由、留学先での学習・研究計画、志望校別志望理由をWord等に記載する。

STEP2 顔写真の撮影または証明書写真のスキャン

顔写真を撮影あるいは証明書写真をスキャンし、JPEG (JPG) 形式またはPNG形式で保存する（ファイルのサイズは5MB以下、カラー推奨）。

※自宅等にスキャナがない場合は、各キャンパスにあるパソコン室等でスキャンすること。

STEP3 必要書類の準備・保存

出願に必要な書類（詳細は、「[3. 出願時に登録する内容・必要書類](#)」を参照）を準備のうえ、スキャンし、PDF形式で保存する（各ファイルのサイズは5MB以下、モノクロ推奨）。スマートフォンで撮影した写真データやスマートフォンアプリでPDF化したものは提出できません。

※自宅等にスキャナがない場合は、各キャンパスにあるパソコン室等でスキャンすること。

STEP4 「KEIO IC-NET」による出願

国際センターのWebサイトから「KEIO IC-NET」にアクセスし、指示に従い出願を行う。

STEP5 願書の保管

出願が完了したら、願書PDFをプリントアウトし控えとして保管する。

個人情報の取扱いについて

- ・出願の際に提供された個人情報は、学校法人慶應義塾の「個人情報保護基本方針」および「個人情報保護規程」に基づき、外部流出等がないよう安全かつ厳密に管理します。
- ・個人情報は、当該年度慶應義塾大学派遣交換留学の選考および事務手続き、応募者や派遣交換留学生への連絡、派遣交換留学生の留学準備、危機管理に使用します。当該目以外には使用しません。
- ・個人情報は、上項の場合を除いて、第三者に開示・提供・預託することはありません。

▲ 出願時の注意事項

- ・必ず出願者本人が入力・送信してください。
- ・出願期間外のデータ送信は無効です。コンピューターの不具合等によるデータ送信の遅れやアクセスが集中したために時間内にデータの送信ができなかった場合でも考慮はされません。最終日はアクセスが集中することが予想されますので、ご注意ください。
- ・出願締切直前に初めて「KEIO IC-NET」にアクセスし、時間が足りず締切までに申請を完了できない塾生が、每期一定数います。遅くとも締切の1週間前までに「KEIO IC-NET」の登録を始め、3日前までには一度申請を完了させることを強く推奨します。出願締切日時までは、何度でも再提出することができます。
- ・顔写真は、デジタルカメラで撮影したもの、証明書写真機で撮影したデータ、証明書写真をスキャンしたもの等を、JPEG (JPG) 形式またはPNG形式で保存し、アップロードしてください。縦4cm (453ピクセル) ×横3cm (340ピクセル) のサイズが目安です。
- ・成績証明書や語学能力証明書等は、スキャンのうえ、PDF形式にしてアップロードしてください。自宅等にスキャナがない場合には、各キャンパスのパソコン室等でスキャンしてください。スマートフォンで撮影した写真データやスマートフォンアプリでPDF化したものは提出できません。
- ・必ず出願内容を確認できるもの(願書PDF)をご自身でも保管してください。
- ・入力内容およびアップロードした書類に不備がある場合、選考の対象にならないことがあります。各自責任を持って確認してください。

2. 英語での出願を希望する塾生 / If you want to apply in English...

For information on the application process in English, see the website below.

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/en.html

Students enrolled in degree programs taught in English (e.g. PEARL or GIGA program) may complete the application in English.

If English is your first (native) language, you may submit one of the following documents instead of a TOEFL iBT or IELTS score. Keep in mind that you will still need to submit all necessary documents by the internal application deadline. Moreover, if your prospective

host institution requires you to provide TOEFL iBT or IELTS scores when you submit your application to them, you must submit these as requested.

- ▶ For students who studied in countries where English is the first language and where classes are given in English (including Ireland, the United Kingdom, Australia, Canada (excluding Quebec), New Zealand, and the United States of America, but not including countries where English is one of multiple official languages or where classes are given in English in a country where English is not the official language), documents that prove they were enrolled from junior high to high school for a total of five years or more in one or more of these countries (e.g., official English academic transcripts from the educational institutions that shows grades over the five or more years you were enrolled).
- ▶ International Baccalaureate final examination academic transcripts of Group I (Studies in language and literature) Courses in English (Language A: literature; Language A: language and literature; and Literature and performance).

3. 出願時に登録する内容・必要書類

※ 生成AI使用に関する注意事項※

派遣交換留学への出願時に登録・提出する内容について、生成AIを使用することは認められません。使用が発覚した場合は選考対象外となりますので、必ず独力で取り組むようにしてください。

■ 学部生の場合

以下の項目について、入力すること。	
① 学生情報	各項目について偽りなく入力すること。 ※連絡先については、keio.jpのメールアドレスを入力すること。
② 履歴	賞罰を含む経歴、海外渡航歴や研究・課外活動について偽りなく入力すること。
③ 志望理由(日本語・留学先大学使用言語(*))	以下の点、すべてに触れながら、志望理由を入力すること。 ・留学を志すことになったきっかけや動機 ・留学実現に向けて努力していること ・留学の経験がどのように将来のビジョンやキャリアプランにつながると考えているか 日本語および留学先大学使用言語で作成してください。日本語は800字程度、留学先大学使用言語は500words程度で記載してください。
④ 留学先での学習・研究計画(日本語・留学先大学使用言語(*))	慶應義塾大学での学習・研究を踏まえ、科目履修、フィールドワーク等について、留学時の具体的な学習・研究計画について入力すること。 第1志望校に絞って作成するか、すべての志望校に共通するものを作成するか等、決まりはありません。日本語および留学先大学使用言語で作成してください。

	<p>日本語は800字程度、留学先大学使用言語は500words程度で記載してください。</p>
<p>⑤ 志望校別志望理由(日本語・留学先大学使用言語(＊))</p>	<p>志望大学を志望順に選択し、学習・研究計画に応じた各大学の具体的な志望理由を日本語および留学先大学使用言語で作成すること。日本語は100字以上200字以内、留学先大学使用言語は60words以上120words以内で記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内選考通過後は、原則として留学の辞退を認めていません。志望大学について丁寧に調べ、本当に留学を希望する大学のみを選択してください。第6志望まですべて埋める必要はありません。希望者数が当該大学の募集人数を超える場合には、相対評価が行われるため、志望大学が少ないと留学できなくなる可能性が高まります。 ・第6志望まで選択した出願者は、志望する6校以外の大学へも留学を希望するか否かを選択してください。一次選考通過者のうち、志望する6校への派遣が決まらなかったが、選考において一定基準を満たすと判断された出願者に対して、派遣交換留学候補生が決まらなかった協定校を対象とした追加選考の案内をする場合があります(追加選考に出願するか否かは、案内された際に検討してください)。 ・すべての志望大学において、志望する学部・学科名を所定欄に明記してください(学部名は、国際センターWeb サイト内の協定校別募集要項にあるUndergraduate program open to exchange studentの欄を参照すること。特に明記されていない場合には、各協定校Webサイトに掲載のFaculty/School/Department名を引用すること)。なお、以下の分野では、一般的に交換留学生に対して何らかの履修制限を設けているケースが多いため、志望校の選択にあたっては特に注意してください。 Business, Economics, Law, Computer Science, Architecture, Design, Medicine, Nursing ・カリフォルニア大学EAPを志望校に挙げる場合は、必ず第3希望まで希望するキャンパスを選択してください。 ・専攻や課程(学部/修士)別に、派遣枠数が設定されている協定校においては、大学の選択肢が、それぞれ専攻や課程ごとに設定されています。希望する専攻や課程を選択してください。なお、選択肢が複数ある協定校は、1つの専攻および課程のみ出願可能です。併願はできません。万一、ルールに反して併願を行った場合には、より希望順の高い方を有効とし、希望順の低い方は、自動的に無効となります。
<p>(＊)【重要】留学先大学使用言語 留学先で履修する予定の授業で使用される言語を指します。Webサイトの協定校別募集要項を参照してください。英語圏以外の国で、英語で行われる授業のみを履修する場合は、英語で計画書を提出してください。複数の言語で授業履修を計画している場合は、それぞれの言語で留学計画書を作成します(例えば、留学先で英語とフランス語で行われる授業を履修する場合は、英語とフランス語で作成)。入力する内容は、日本語と同じでもかまいません。</p>	

以下の書類をアップロードすること（各ファイルのサイズは5MB以下推奨）。	
① 顔写真	脱帽上半身正面、背景なし、直近3ヵ月以内に撮影したもの。サイズは縦4cm（453ピクセル）×横3cm（340ピクセル）が目安です。スナップ写真を切り抜いたものは受け付けられません。
② 成績証明書	<p>最新の和文成績証明書（各キャンパスの証明書発行機またはコンビニエンスストアにて発行してください。K-Supportの学業成績表とは異なるので注意）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学士入学等をした場合は、現在の成績証明書に加えて、以前在籍していたすべての学部の成績証明書をアップロードしてください。 ・秋募集の出願においては、春学期の成績を含めた最新の成績証明書を入手のうえ、アップロードを完了してください。 <p>※前学期までの授業料が未納（奨学金手続きの関係によるもの等も含む）の場合、いかなる証明書も発行できません。また納入後、発行まで数日を要する場合があります。</p> <p>※成績証明書発行についての詳細は、塾生サイトを確認してください。 https://www.students.keio.ac.jp/com/procedure/certificate/issue.html</p>
③ 語学能力証明書	<p>留学先大学使用言語の公的機関が発行する能力証明書。以下の該当言語の指定書類、「IV. 語学能力証明書」ならびにWebサイトの各大学の語学能力基準を確認すること。出願期間中に指定された語学能力証明書をアップロードできない場合は、いかなる理由があっても遅延を認めません。</p> <p>英語で授業を履修する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶英語の公的機関が発行する語学能力証明書。 <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL iBT、IELTS <p>英語以外の言語で授業を履修する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶各種語学能力試験もしくは語学担当教員による語学能力証明書。 <p>※原則、公的な語学能力試験の証明書を提出してください。公的な語学能力試験の証明書が出願期間内に用意できない場合に限り、例外的に、語学担当教員作成の語学能力証明書の提出を認めます。</p> <p>※主に、日本国内で通用する各種外国語検定試験（中国語検定試験、実用フランス語技能検定試験、ドイツ語技能検定試験等）は、学内選考出願時には語学能力証明書として提出可能ですが、学内選考通過後、各協定校への本出願にあたっては、受付が不可である場合があります。その場合、学内選考通過後～協定校への本出願までの間に、留学先の政府や協定校が公認する検定試験のスコア取得が必要となります。</p>
④ 誓約書	<p>保証人とよく相談したうえで出願者および保証人が署名してください。交換留学終了後まで大切に保管してください。</p> <p>誓約書は以下のページからダウンロードが可能です。 https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/applications.html</p>

■大学院生および大学院進学予定の学部4年生の場合

以下の項目について、入力すること。	
① 学生情報	各項目について偽りなく入力すること。 ※連絡先については、keio.jpのメールアドレスを入力すること。
② 履歴	賞罰を含む経歴、海外渡航歴、研究歴、主要論文の要約を含むこと。
③ 志望理由(日本語・留学先大学使用言語(*))	以下の点、すべてに触れながら、志望理由を入力すること。 ・留学を志すことになったきっかけや動機 ・留学実現に向けて努力していること ・留学の経験がどのように将来のビジョンやキャリアプランにつながると考えているか 日本語および留学先大学使用言語で作成してください。日本語は1,000字程度、留学先大学使用言語は800words程度で記載してください。
④ 留学先での学習・研究計画(日本語・留学先大学使用言語(*))	慶應義塾大学での研究を踏まえ、科目履修、研究指導、フィールドワーク等について、留学時の具体的な学習・研究計画を書くこと。 第1志望校に絞って作成するか、すべての志望校に共通するものを作成するか等、決まりはありません。日本語および留学先大学使用言語で作成してください。日本語は1,000字程度、留学先大学使用言語は800words程度で記載してください。
⑤ 志望校別志望理由(日本語・留学先大学使用言語(*))	志望大学を志望順に選択し、学習・研究計画に応じた各大学の具体的な志望理由を日本語および留学先大学使用言語で作成すること。日本語は100字以上200字以内、留学先大学使用言語は60words以上120words以内で記載してください。 ・学内選考通過後は、原則として留学の辞退を認めていません。志望大学について丁寧に調べ、本当に留学を希望する大学のみを選択してください。第6志望まですべて埋める必要はありません。希望者数が当該大学の募集人数を超える場合には、相対評価が行われるため、志望大学が少ないと留学できなくなる可能性が高まります。 ・第6志望まで選択した出願者は、志望する6校以外の大学へも留学を希望するか否かを選択してください。一次選考通過者のうち、志望する6校への派遣が決まらなかったが、選考において一定基準を満たすと判断された出願者に対して、派遣交換留学候補生が決まらなかった協定校を対象とした追加選考の案内をする場合があります(追加選考に出願するか否かは、案内された際に検討してください)。 ・すべての志望大学において、志望する研究科名を所定欄に明記してください(研究科名は、国際センターWebサイト内の協定校別募集要項にあるGraduate program open to exchange studentの欄を参照すること。特に明記されていない場合には、各協定校Webサイトに掲載のSchool/Department名を引用すること)。なお、以下の分野では、一般的に交換留学生に対して何らかの履修制限を設けているケースが多いため、志望校の選択にあたっては特に注意してください。

	<p>Business, Economics, Law, Computer Science, Architecture, Design, Medicine, Nursing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリフォルニア大学EAPを志望校に挙げる場合は、必ず第3希望まで希望するキャンパスを選択してください。 ・専攻や課程(学部／修士)別に、派遣枠数が設定されている協定校においては、大学の選択肢が、それぞれ専攻や課程ごとに設定されています。希望する専攻や課程を選択してください。なお、選択肢が複数ある協定校は、1つの専攻および課程のみ出願可能です。併願はできません。万一、ルールに反して併願を行った場合には、より希望順の高い方を有効とし、希望順の低い方は、自動的に無効となります。
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(*)【重要】留学先大学使用言語

留学先で履修する予定の授業で使用される言語を指します。Webサイトの協定校別募集要項を参照してください。英語圏以外の国で、英語で行われる授業のみを履修する場合は、英語で計画書を提出してください。複数の言語で授業履修を計画している場合は、それぞれの言語で留学計画書を作成します(例えば、留学先で英語とフランス語で行われる授業を履修する場合は、英語とフランス語で作成)。入力する内容は、日本語と同じでもかまいません。

以下の書類をアップロードすること(各ファイルのサイズは5MB以下推奨)。

① 顔写真	<p>脱帽上半身正面、背景なし、直近3カ月以内に撮影したもの。サイズは縦4cm(453ピクセル)×横3cm(340ピクセル)が目安です。スナップ写真を切り抜いたものは受け付けられません。</p>
② 成績証明書	<p>最新の和文成績証明書(各キャンパスの証明書発行機またはコンビニエンスストアにて発行してください。K-Supportの学業成績表とは異なるので注意)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで所属したすべての学部および大学院の成績証明書をアップロードしてください。他大学出身者は、出身大学から成績証明書を取り寄せてアップロードしてください。 ・学士入学等をした場合は、現在の成績証明書に加えて、以前在籍していたすべての学部の成績証明書をアップロードしてください。 ・秋募集の出願においては、春学期の成績を含めた最新の成績証明書を入手のうえ、アップロードを完了してください。 <p>※前学期までの授業料が未納(奨学金手続きの関係によるもの等も含む)の場合、いかなる証明書も発行できません。また納入後、発行まで数日を要する場合があります。</p> <p>※成績証明書発行についての詳細は、塾生サイトを確認してください。</p> <p>https://www.students.keio.ac.jp/com/procedure/certificate/issue.html</p>
③ 語学能力証明書	<p>留学先大学使用言語の公的機関が発行する能力証明書。以下の該当言語の指定書類、「IV. 語学能力証明書」ならびにWebサイトの各大学の語学能力基準を確認すること。出願期間中に指定された語学能力証明書をアップロードできない場合は、いかなる理由があっても遅延を認めません。</p> <p>英語で授業を履修する場合</p> <p>▶英語の公的機関が発行する語学能力証明書。</p>

	<p>・TOEFL iBT、IELTS</p> <p>英語以外の言語で授業を履修する場合</p> <p>▶各種語学能力試験もしくは語学担当教員による語学能力証明書。</p> <p>※原則、公的な語学能力試験の証明書を提出してください。公的な語学能力試験の証明書が出願期間内に用意できない場合に限り、例外的に、語学担当教員作成の語学能力証明書の提出を認めます。</p> <p>※主に、日本国内で通用する各種外国語検定試験(中国語検定試験、実用フランス語技能検定試験、ドイツ語技能検定試験等)は、学内選考出願時には語学能力証明書として提出可能ですが、学内選考通過後、各協定校への本出願にあたっては、受付が不可である場合があります。その場合、学内選考通過後～協定校への本出願までの間に、留学先の政府や協定校が公認する検定試験のスコア取得が必要となります。</p>
④ 留学許可書	慶應義塾大学での指導教員から留学を許可する文書。手紙やメール等、形式は問いません。
⑤ 受入承諾書	志望大学の指導教員から受入の内諾を示す文書。通常、正式に出願していないため、正式な受入承諾(Letter of Acceptance)は発行されませんが、交換留学生として正式に出願した際には、指導教員となってもらえるかを確認すること。メール等文書の形式は問いません。複数の大学を志望する場合、それぞれの大学ごとに、受入承諾書を提出してください。なお、当該大学の事情により提出できない場合は、理由書を提出してください。
⑥ GREテストスコア (該当者のみ)	GRE(General Test・Subject Test)のスコア。米国の大学院に留学する場合、プログラムによってはGREのスコアが必要となります。各自で希望大学院において必要なGREを確認・受験し、出願期間内にスコアを提出してください。
⑦ 大学院合格証明書 (該当者のみ)	学部4年に在籍し、なおかつ応募時の次年度に大学院学生として留学を希望する場合、慶應義塾大学の研究科からの合格証明書をアップロードしてください。派遣交換留学への出願後に大学院入学試験を受験する場合は、大学院合格後に提出してください。ただし、大学院入学試験が不合格だった場合は、派遣交換留学候補生の資格が取り消しとなります。
⑧ 誓約書	保証人とよく相談したうえで出願者および保証人が署名してください。交換留学終了後まで大切に保管してください。 誓約書は以下のページからダウンロードが可能です。 https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/applications.html

IV. 語学能力証明書

・派遣交換留学の学内選考の出願には、必ず留学先大学使用言語（留学先で履修予定の授業で使用される言語）の能力を証明する書類が必要です。原則として、1つの言語につき1種類の証明書を提出してください。複数の証明書を提出したい場合には、1種類につき1枚のみ提出できます（例えば、IELTSの結果を複数提出することは認めません）。ただし、TOEFL iBTに関しては、新スケールと旧スケールのスコアを両方所持している場合に限り、新旧双方のスコアの提出を認めます。次の表を参照し、早めに語学試験受験等の計画を立ててください。なお、**志望理由や留学先での学習・研究計画等を書いていない言語や志望する大学で授業が開講されていない言語は、留学先大学使用言語とは認めず、証明書は受け付けませんので注意してください。**

・スコアレポートが手元に届いていない場合のみ、オンラインにて閲覧できるスコアのプリントアウトのアップロードを可とします。なお、スコアのプリントアウトに氏名や受験番号等の記載がない場合は、本人確認ができませんので、その場合は必ず、受験票等の個人が特定できる書類を併せてアップロードしてください。

英語で授業を履修する場合	<p>TOEFL iBT、IELTSの語学能力証明書</p> <ul style="list-style-type: none">・TOEFL iBT・IELTSいずれの場合も受験後2年以内であること。 <p>〈例〉2027年度秋募集に出願する場合</p> <ul style="list-style-type: none">・受験日が2024年9月29日以降の場合は有効・受験日が2024年9月28日以前の場合は無効 <ul style="list-style-type: none">・TOEFL iBTはTest Taker Score Report（受験者用控えスコア票）、IELTSはTest Report Formをアップロードすること。・IELTSは、アカデミックモジュールのみ受け付けます。テストセンター受験型のアカデミックモジュールであれば、コンピューター版とペーパー版のいずれも有効なスコアとして受け付けます。 <p>※TOEFL iBT Home Edition／IELTS Onlineでの出願は受け付けません。</p> <p>学内選考募集期日までに必ずテストセンター受験型のTOEFL iBT／IELTSのスコアレポートをご用意ください。</p> <ul style="list-style-type: none">・証明書はテスト1種類につき1枚のみ提出を可とする。ただし、TOEFL iBTに関しては、新スケールと旧スケールのスコアを両方所持している場合に限り、新旧双方のスコアの提出を認めます。・語学教員作成の語学能力証明書では出願不可。・英語が母語の塾生に限り、TOEFL iBTあるいはIELTSに代わり、以下の書類の提出を可とする。ただし、以下の証明書を提出する場合であってもすべての出願登録を学内出願締切日までに行うことに留意すること。また学内選考通過後、留学予定大学に願書を提出する際に、TOEFL iBTあるいはIELTSの提出を求められた場合は、その指示どおりに提出すること。 <p>▶英語を第一言語とし、かつ授業が英語で行われた国（アイルランド、英国、オーストラリア、カナダ（ケベック州以外）、ニュージーランド、もしくは米国等。英語</p>
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>が複数の公用語のうちの一つである国や、公用語が英語でない国で授業が英語だった場合は含まれない)で、中学校から高等学校にわたっての在籍年数が通算5年以上であることを証明する書類(5年間以上の成績が把握できる在籍した教育機関からの公式な英文成績証明書等)</p> <p>▶国際バカロレア(IB) 第一科目群 英語(I言語と文学 言語A:文学、言語A:言語と文学、文学と演劇)の最終試験の成績証明書</p>
韓国語で授業を履修する場合	韓国語能力試験(TOPIK)、「ハングル」能力検定試験、韓国語能力評価試験(KLAT)、語学担当教員作成の語学能力証明書(＊)
インドネシア語で授業を履修する場合	インドネシア語技能検定試験、語学担当教員作成の語学能力証明書(＊)
中国語で授業を履修する場合	HSK中国語検定、中国語検定試験、華語文能力測検(台湾の協定校を志望する場合のみ)、語学担当教員作成の語学能力証明書(＊) ・HSK中国語検定の場合、出願時に級および点数も入力すること。
フランス語で授業を履修する場合	DELF/DALF、実用フランス語技能検定試験、TCFの語学能力証明書(＊) 語学担当教員作成の語学能力証明書(＊)
ドイツ語で授業を履修する場合	ゲーテ・インスティトゥート検定試験の証明書、ゲーテ・インスティトゥート検定試験の講座受講証明書、TestDaf、ドイツ語技能検定試験、オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験、語学担当教員作成の語学能力証明書(＊)
スペイン語で授業を履修する場合	DELE、スペイン語技能検定、語学担当教員作成の語学能力証明書(＊)
イタリア語で授業を履修する場合	CILS、実用イタリア語検定試験、語学担当教員作成の語学能力証明書(＊)
ロシア語で授業を履修する場合	ロシア語検定試験、ロシア語能力検定試験、語学担当教員作成の語学能力証明書(＊)
その他言語で授業を履修する場合	各種公的な語学能力試験、語学担当教員作成の語学能力証明書(＊)

(＊) 学内出願時は、原則、公的な語学能力試験の証明書を提出してください。公的な語学能力試験の証明書が出願期間内に用意できない場合に限り、例外的に、語学担当教員作成の語学能力証明書の提出を認めます。

語学能力証明書は、担当教員から、直接国際センター宛てにオンラインフォームにて提出となります。提出までの流れは、国際センターWebサイトにてお知らせします。

語学担当教員作成の語学能力証明書の申請時には、必ず公的な語学能力試験の受験予定日を記入いただきます。

※学内選考出願時には語学担当教員による語学能力証明書のみでも出願を受け付けますが、協定校への出願時には、通常、公的機関による語学能力証明書の提出が求められます。試験によっては年数回しか実施がないものもあるため、計画的に受験してください。

▶主として日本国内で通用する各種外国語検定試験

主に、日本国内で通用する各種外国語検定試験（中国語検定試験、実用フランス語技能検定試験、ドイツ語技能検定試験等）は、学内選考出願時には語学能力証明書として提出可能ですが、学内選考通過後、各協定校への本出願にあたっては、受付が不可である場合があります。その場合、留学先の政府や協定校が公認する検定試験のスコアが必要となります。試験によっては年間の実施回数が限られていたり、スコアが手元に届くまでに数週間～数カ月かかるものもありますので、学内選考の結果が判明する前から、計画的に受験の準備を行ってください。

V. 選考

1. 審査

書類審査

2. 選考で重視されるポイント

■学部生

- ① 留学計画：目的や内容、留学希望大学に関する知識等
- ② 専門分野に関する知識：専門性や学業成績
- ③ 自己表現の明確さ
- ④ 自立心・精神的成熟度・社会性・積極性・協調性
- ⑤ 留学先大学使用言語の聴解力・口頭表現力・読解力・作文力
- ⑥ 異文化に対する適応力や柔軟性

■大学院生

- ① 留学計画：目的や内容、留学希望大学に関する知識等
- ② 専門分野に関する知識：専門性や学業成績
- ③ 自己表現の明確さ
- ④ 自立心・精神的成熟度・社会性・積極性・協調性
- ⑤ 留学先大学使用言語の聴解力・口頭表現力・読解力・作文力
- ⑥ 異文化に対する適応力や柔軟性
- ⑦ 留学先での研究計画の内容

学業成績や語学能力だけを重視した選考ではありません。

VI. 派遣交換留学 応募状況

直近3年間の派遣交換留学への応募状況は以下のとおりです。なお、学内選考通過者数に追加選考合格者数は含みません。

■秋募集

国地域	派遣先大学名	2026年度募集			2025年度募集			2024年度募集		
		募集人数	第1志望出願者数	学内選考通過者数	募集人数	第1志望出願者数	学内選考通過者数	募集人数	第1志望出願者数	学内選考通過者数
China	Beijing Foreign Studies University	2	0	0	2	0	0	3	0	0
	Beijing Normal University	3	0	0	3	0	0	4	0	0
	City University of Hong Kong	1	3	1	1	0	1	2	0	1
	Fudan University	2	1	1	3	1	1	2	1	1
	Jilin University	1	0	0	2	0	1	2	0	0
	Nanjing University	2	0	0	1	0	0	2	0	0
	Nankai University	1	0	0	1	0	0	2	1	1
	Peking University	1	2	1	2	0	0	1	4	1
	Renmin University of China	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	Shanghai Jiao Tong University	2	0	0	3	0	0	3	1	2
	The Chinese University of Hong Kong	3	0	1	4	1	1	4	0	0
	The University of Hong Kong	3	4	3	3	1	3	2	1	2
	Tsinghua University	1	2	1	1	5	1	2	3	2
	University of Macau	1	0	1	1	0	1	1	1	1
	Xi'an Jiaotong University	1	0	0	1	0	0	3	1	0
Zhejiang University	3	3	3	3	5	3	3	0	2	
Indonesia	Universitas Indonesia	2	0	0	2	1	1	2	0	0
Korea	Ewha Womans University	1	0	1	1	0	0	1	0	0
	Korea University	2	0	1	3	1	0	6	2	3
	Pusan National University	1	1	1	1	1	0	1	0	0
	Seoul National University	3	1	2	3	1	1	3	4	3
	Yonsei University	2	4	2	2	2	2	2	1	1
Malaysia	Universiti Malaya	2	0	1	1	1	0	2	0	0
Philippines	University of the Philippines	1	0	0	1	0	0	1	0	0
Singapore	National University of Singapore	2	17	2	2	15	2	2	17	2
	Singapore Management University	1	0	0	2	1	1	3	1	3
	Singapore University of Technology and Design	1	1	0	-	-	-	-	-	-
Taiwan	National Chengchi University	2	0	0	2	1	2	2	1	1
	National Cheng Kung University	1	0	0	1	1	0	1	0	1
	National Taiwan University	3	4	3	3	2	2	3	4	3
Thailand	Chulalongkorn University	1	0	0	1	0	0	1	1	1
Viet Nam	Foreign Trade University	1	1	1	1	1	1	3	0	0
Canada	Concordia University	2	2	2	1	1	1	2	1	2
	McGill University	2	0	2	1	0	0	1	0	1
	Queen's University	3	4	3	2	0	2	3	5	3
	The University of British Columbia	9	3	5	5	2	2	9	10	8
	Université de Montréal	1	0	0	2	0	0	4	0	0

	University of Calgary	2	5	2	1	2	1	1	1	1
	University of Toronto	2	3	2	1	2	1	2	15	2
	York University (Canada)	2	0	2	1	0	1	1	1	1
United States of America	Allegheny College	1	0	1	3	1	3	3	1	3
	American University	2	0	1	2	1	2	2	3	2
	Boston University	4	7	4	4	7	4	4	1	4
	Brown University	1	4	1	1	17	1	2	8	2
	Bryn Mawr College	1	0	0	2	0	0	2	0	0
	Carnegie Mellon University	2	7	2	2	3	2	2	7	2
	Dartmouth College	1	5	1	2	2	2	1	5	1
	Georgetown University	2	3	2	1	9	1	1	2	1
	Illinois Wesleyan University	募集なし	-	-	募集なし	-	-	募集なし	-	-
	Manhattanville University	1	0	1	1	1	1	2	0	2
	Rice University	募集なし	-	-	1	0	1	1	0	1
	The College of William & Mary	募集なし	-	-	3	2	3	1	0	1
	The University of North Carolina at Chapel Hill	1	8	1	4	10	4	4	12	4
	University of California Education Abroad Program	6	15	6	13	24	13	14	25	12
	University of Hawai'i at Mānoa	4	6	4	5	8	5	5	4	5
	University of Illinois at Urbana-Champaign	1	1	1	2	3	2	2	3	2
	University of Maryland, College Park	募集なし	-	-	3	0	1	1	1	1
	University of Notre Dame	1	0	1	1	1	1	1	0	1
	University of Pennsylvania	2	14	2	2	8	1	2	6	2
	University of Washington	3	11	3	5	20	5	3	9	3
University of Wisconsin-Madison	1	4	1	1	10	1	4	4	4	
Western Michigan University	1	5	1	3	8	3	3	2	3	
Mexico	Tecnológico de Monterrey	2	1	1	2	0	0	2	0	0
Austria	WU (Vienna University of Economics and Business)	2	8	2	2	6	2	1	6	1
Belgium	Universiteit Antwerpen	2	1	2	2	1	2	2	0	2
Denmark	Aarhus University	2	1	1	2	6	2	2	6	2
France	École normale supérieure (ENS)	1	3	1	1	1	1	1	0	0
	EDHEC Business School	4	5	3	6	3	3	5	2	3
	ESSEC Business School	7	6	6	5	5	3	7	2	5
	HEC Paris	3	12	3	3	7	3	3	8	3
	INALCO	2	0	0	2	1	1	2	1	2
	Jean Moulin-Lyon 3 University	3	1	3	3	3	3	3	1	3
	Sciences Po	6	12	6	6	10	6	6	10	6
	Toulouse Capitole University	2	0	1	2	1	2	2	0	2
	Université Côte d'Azur	1	0	0	2	0	0	1	0	0
	Université Paris Cité	2	0	0	2	1	1	2	1	2
	Université de Strasbourg	5	7	5	5	3	5	5	7	5
Université Paris I Panthéon-Sorbonne	2	2	2	2	0	0	2	0	0	

	Université Sorbonne Nouvelle	3	1	2	3	0	0	3	0	0
Germany	Freie Universität Berlin	2	1	2	3	0	0	2	5	2
	Heinrich Heine University Düsseldorf	1	0	1	2	1	1	1	1	1
	Martin Luther University Halle-Wittenberg	3	1	1	3	1	1	3	0	0
	RWTH Aachen University	3	3	3	3	0	1	7	2	5
	Saarland University	3	0	0	3	1	2	3	1	1
	Technische Universität Darmstadt (TU Darmstadt)	2	0	1	2	0	0	1	0	1
	Technische Universität München (TUM)	3	10	3	3	2	2	5	5	5
	TU Dresden	3	1	1	3	0	0	3	0	1
	University of Bonn	1	0	0	2	2	1	2	1	1
	University of Cologne	2	3	2	2	0	2	3	2	2
	University of Siegen	2	0	0	2	1	0	3	0	2
	WHU-Otto Beisheim School of Management	2	1	2	1	0	0	3	0	0
Greece	National and Kapodistrian University of Athens	1	0	0	1	0	0	1	0	0
Hungary	University of Pécs	2	3	2	2	0	2	2	0	2
Ireland	University College Dublin	2	0	2	1	1	1	2	3	2
Italy	Ca' Foscari University of Venice	5	2	5	3	1	3	7	3	7
	"L'Orientale" University of Naples	1	0	0	1	0	0	2	0	0
	Sapienza Università di Roma	1	3	1	1	0	1	2	1	2
	Università Bocconi	1	8	1	1	15	1	1	8	1
	University of Pavia	1	0	0	2	0	2	2	0	2
	Università degli Studi di Milano	1	2	1	-	-	-	-	-	-
Netherlands	Erasmus University Rotterdam	8	6	6	6	2	3	7	10	7
	Leiden University	2	4	2	2	2	2	2	1	2
	University of Amsterdam	3	2	3	3	1	2	2	2	2
	VU Amsterdam	3	5	3	3	4	3	4	4	4
Norway	University of Bergen	2	0	2	1	6	1	1	3	1
	University of Oslo	2	11	2	2	9	2	4	14	4
Poland	University of Warsaw	2	5	2	2	3	2	2	1	2
Russia	Far Eastern Federal University	募集停止	-	-	0	0	0	0	0	0
	Lomonosov Moscow State University	募集停止	-	-	0	0	0	0	0	0
	Saint Petersburg State University	募集停止	-	-	0	0	0	0	0	0
Spain	ESADE Business School	2	1	2	2	8	2	2	5	2
	Pompeu Fabra University (UPF)	1	2	1	1	1	1	1	0	0
	Universidad de Salamanca (USAL)	2	0	0	1	1	1	2	0	0
	Universitat Autònoma de Barcelona (UAB)	2	2	2	2	0	0	2	2	2
	University of Navarra	3	3	3	3	2	3	3	1	3
Sweden	KTH	1	3	1	2	6	2	2	4	2
	Lund University	3	10	3	2	6	2	2	3	2
	University of Gothenburg	3	15	3	3	9	3	3	8	3
	Uppsala University	3	3	1	1	8	1	1	6	1

Switzerland	University of Bern	2	1	2	2	1	2	2	2	2
	University of Geneva (UNIGE)	5	8	5	5	5	5	5	6	5
	University of Lausanne (UNIL)	3	1	3	3	3	3	3	0	3
	University of St.Gallen	4	8	4	3	4	3	4	3	4
	University of Zurich	1	0	0	1	0	0	1	1	0
Turkey	Bogazici University	1	0	0	1	0	1	1	1	1
United Kingdom	Cardiff University	1	0	1	2	1	2	2	2	2
	Durham University	2	5	2	1	5	1	-	-	-
	King's College London	3	6	3	2	1	2	3	3	3
	Royal Holloway, University of London	2	0	2	2	2	2	2	0	1
	SOAS, University of London	2	1	2	2	0	0	2	3	2
	The University of Edinburgh	2	7	2	2	9	2	2	7	2
	The University of Manchester	2	0	2	2	5	2	2	5	2
	The University of Sheffield	1	2	1	1	1	1	1	1	1
	The University of Warwick	3	1	3	4	2	4	3	1	2
	University of Birmingham	2	6	2	2	7	2	3	4	3
	University of Glasgow	2	7	2	2	5	2	2	3	2
	University of Southampton	2	0	1	2	0	0	2	1	0
	University of St Andrews	1	2	1	1	1	1	1	0	0
	University of York (UK)	2	0	0	2	1	2	2	1	2
合計		287	376	217	303	377	211	346	355	252

■春募集

国・地域	派遣先大学名	2025年度募集			2024年度募集			2023年度募集		
		募集人数	第1志望出願者数	学内選考通過者数	募集人数	第1志望出願者数	学内選考通過者数	募集人数	第1志望出願者数	学内選考通過者数
Australia	The Australian National University	4	1	4	2	5	2	2	2	2
	The University of Melbourne	2	5	2	2	5	2	5	9	5
	The University of New South Wales	1	1	1	2	1	2	6	6	6
	The University of Queensland	2	7	2	4	9	4	2	9	2
	The University of Sydney	4	7	4	5	7	5	6	8	6
New Zealand	The University of Auckland	2	10	2	2	6	2	2	9	2
	University of Otago	1	1	1	1	0	1	1	1	1
Argentina	Torcuato di Tella University	1	1	1	3	0	0	2	2	2
合計		17	33	17	26	21	33	18	26	46

▶募集時期別統計(出願者・学内選考通過者)

2026年度秋募集(学内選考出願時学年)

	学部生1年		学部生2年		学部生3年		学部生4年		大学院生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
出願者	97	25.8%	245	65.2%	30	8.0%	1	0.3%	3	0.8%
学内選考通過者	49	22.6%	146	67.3%	19	8.8%	0	0.0%	3	1.4%

2025年度春募集(学内選考出願時学年)

	学部生1年		学部生2年		学部生3年		学部生4年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
出願者	1	3.0%	22	66.7%	10	30.3%	0	0.0%
学内選考通過者	1	5.9%	12	70.6%	4	23.5%	0	0.0%

◆最後に

派遣交換留学の学内選考に出願する際は、必ず「国際センターWebサイト」掲載の「協定校別募集要項」および「各協定校独自Webサイト」を確認しましょう。交換留学生在が学ぶことができる学部・分野、出願の要件など、変更となる可能性もあります。また、新たに募集が開始される協定校、年度によって募集のない協定校もありますので、常に最新の情報を確認するようにしてください。

国際センターWebサイト「協定校別募集要項」

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/ex_partners.html

以上